

「2022年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学農学部3年 大道樹

日本から一番近いのに一番距離感が掴みづらい国、韓国。私は祖父母が韓国時代劇をよく見ていた影響で、物心ついたころから韓国という漠然とした社会に興味関心を抱いていた。両国間には、地理的・人種的・言語的な近縁性がある一方、国民性や伝統文化については似て非なる点が様々ある。また食やエンタメ、旅行産業等での文化交流はますます盛んになっている一方、今もなお政治的な問題を抱えている。日本と韓国の両国間には見えない「距離感」があるのだ。そこで、私は表象だけでなく言語を通して韓国を知ることができればより面白い経験になると感じ、本プログラムに応募した。

韓国での三週間は学びと驚きの連続であった。まず韓国国内の社会については、韓国人学生の話から彼らがいかに熾烈な学生生活を送ってきたのかについて理解できた。日本の受験制度も大変なものだと考えていたが、韓国という比較対象を得たことでより多角的に社会問題を捉える視座を獲得できたのである。また、今もなお続く日韓対立についても慰安婦像やデモの現場を生で見たり日韓関係についての特別講義を聴講する中で、改めて日韓両国における立場や考え方の違いを知ることができた。そして最も貴重だったのは、日韓問題に対する若い世代の価値観を現地の学生から直に聞くことができた点である。私は彼らの意見を聞いて、私は未来の日韓関係の在り方に対して希望的な視点を獲得することができた。過去の歴史に向き合う一方で隣国として文化的な交流を深め、現実的な関係性を築くべきだという意見が出たほか、なにより彼らが私たちに対して日本人という抽象的な対象としてではなく一個人として接してくれたことは非常に感慨深かった。これは私たち学生の立場でできる最大限の日韓交流、いや真の交流といえるのではないだろうか。

また、今回の留学プログラムにおいては日本と韓国という視点のみならず、語学堂において様々な国や地域の学生と交流できた点も貴重な経験となった。私の所属していたクラスには台湾、シンガポール、インドネシア、イラン、イギリス、スペイン、ノルウェー、パナマなどの様々な地域出身の学生が所属しており、ランチタイムや午後休暇を中心に交流を深める中で、各々と親密になるだけでなく各国の文化についても知ることができた。また、日本を旅行したことがあるという友達からは日本で訪れた場所の写真を見せてもらうなど、海外の人の日本に対する視点や考え方なども知ることができ、大変実りのある時間を過ごすことができた。また、特に仲良くなった友達とは今もSNSを通して交流が続いており、個人レベルではあるがグローバルな繋がりを築くことができた。

さて、この留学を通して私の中で大きな変化があった。それは、将来的に何らかの形で海外と関わる仕事をしてみたいと思うようになったことである。もともと抱いていた韓国への興味関心が一層高まっただけでなく、それに加えて「人と人との」繋がりを築く面白さを実感できたのである。各国から来た留学生や現地の韓国人学生と韓国語や英語でコミュニケーションをとる中で、海外の人と関わる面白さを実感した。今後しばらくは日本で学生生活を過ごすことになるが、それでも韓国語や英語の勉強は継続して行っていきたいと思っている。今回の留学は、私の将来のビジョンを大きく変える出来事になった。

最後に、本プログラムに関わって頂いたすべての関係者の方にお礼を申し上げたい。

Dear teachers in Yonsei-univ

First of all, I would say thank you for all people who were related to this project. Through the classes of UIC, I could get variety of deep knowledges and have wonderful experiences.

First, I think that the presentation-discussion class was valuable for me. Discussing the social matters about Japan and Korea with Yonsei students was interesting. In my team, we discussed the competitive society especially about education and salary. Through the discussion, I could realize the situation in Korea from Korean students who survived in competitive society. Not only that, I got a point of view to compare the situation from Japan.

Second, through the special history lecture, I got deep knowledges about the relationship between Japan and Korea. Through the lecture, I realized how Korean people think about the history and Japanese attitude for Korea. In addition, I acknowledged the importance of caring Koreans and building constructive arguments with them. In Japan, we cannot easily take such a meaningful class so that this class was extremely valuable for me.

In this way, I could spend irreplaceable time in UIC so that I am filled with gratitude for you. In the next spring, new Kyoto-univ students will visit Yonsei-univ. In this time, I hope you will treat them the same way.

Best regards,

Itsuki Omichi

이번에는 프로그램을 계획, 운영해 주셔서 정말 감사합니다. 유학중에는 한국인 학생 이외에도 다양한 지역의 학생과 교류해, 친구가 될 수 있었습니다. 앞으로도 계속 한국어를 공부합니다. 미래에는 일본과 한국의 작은 다리 역할이 될 수 있도록 노력합니다. 감사합니다.

오미치 이츠키